

NPO 法人 環境生態工学研究所 活動報告

実施日	平成 26 年 9 月 22 日 (月)
場所	気仙沼市立 唐桑中学校
参加者	気仙沼市立 唐桑中学校 1 年生【約 50 人】

活動状況を報告いたします

状況写真	解説
	<p>今回は海の世界教育として、気仙沼市の唐桑中学校にお邪魔しました。1 年生の皆さんはみんな元気で積極的です。挨拶も完璧!!海や環境に対する知識も豊富でした。</p> <p>まずは学校近くの浜に集合です。約 20 分ほどの徒歩で浜にたどり着くとは、なんて恵まれた環境なのでしょう。</p>
	<p>今回の目的を話した後、浜の清掃を行いました。</p> <p>人間が出したごみ(人工物)と自然からの漂着物(海藻や木など)を分けて回収しました。</p>

(次ページへ続く)

状況写真	解説
	<p>所々で、本日のテーマに関する海藻の勉強です。 海藻の種類や生活環、深度によって生えている海藻の色が違うことなど現地調査ならではの内容を勉強しました。</p>
	<p>一汗かくとすでにお昼の時間。 学校の調理室で『あかもく温麺』をゆでて食べました。 アカモクは全国に生えている海藻で食べる人はあまりいませんでした。しかし、麺の中に混ぜると体と環境に良い商品になります。このような付加価値についても学びました。</p>
	<p>『多く茹ですぎたかな?』と考えた我々の不安もなんのその。『おいしい!!』といって残さず食べてくれました。うれしいですね。</p>

(次ページへ続く)

状況写真	解説
	<p>食事の後は当NPOの佐々木理事（佐々木先生）から海藻と環境についての講義がありました。</p> <p>海的环境と海藻の役割には密接な繋がりがあるのです。でも、これを説明するにはたくさんの背景や事例、科学的知見などを知る必要があります。</p> <p>話をする方も真剣です。</p>
	<p>皆さん熱心に聞いてくださいました。また、たくさんの質問をしてくれました。</p> <p>・・・実は佐々木先生はヒヤヒヤしていました。学者からの質問に対しては慣れていますが、中学生がこんな高度な内容を聞いてくるなんて、考えていませんでした。</p>
	<p>移動中に見かけたニホンカモシカです。</p> <p>唐桑中学校の周辺は山あり海ありのとても良い環境でした。この環境をよく知り、守り、郷土への愛情として育てていただきたいと思います。</p> <p>本当に感心する生徒さんたちでした。きっと彼らならわかってくれると思います。</p>

以上